

机上配布資料3
(公表可能部分を抜粋)

農林水産省における カンピロバクターのリスク管理取組状況

消費・安全局食品安全政策課

令和2年7月17日

農林水産省

現在の農林水産省の取組の方向①

加工・流通・消費段階での衛生管理に加え、農場段階での衛生管理

- 農場の衛生対策の効果検証
 - 汚染実態と衛生対策の実施条件を調査
 - ↳ 生産加工事業者や獣医師等との意見交換
 - 個々の衛生対策の効果や組合わせた場合の効果を検討
 - ↳ 生産性に与える影響も合わせて検討
- 検証の結果、有効で現場で実行できる衛生対策をできるだけ多く特定
 - ↳ 生産加工事業者、獣医師等と意見交換



- ハンドブックの改訂・普及により衛生対策を促進
 - 現場での勉強会 等
- さらなる効果検証
 - 上記の衛生対策による効果を検証するため調査



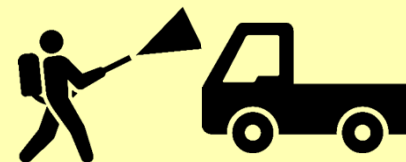
飼養衛生管理を毎日点検



部外者の立入制限



農場出入り時の消毒確認(車両、人、物)

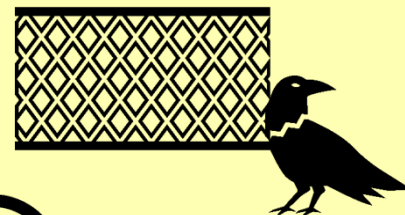


衣服、長靴交換

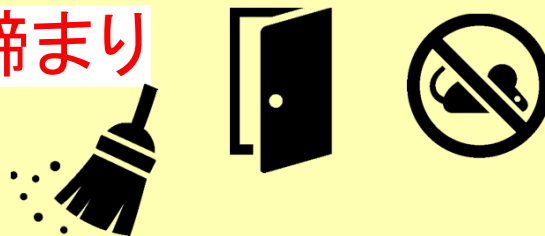


ネズミ駆除、消石灰散布

野生動物侵入防止対策(防鳥ネット)



整理、清掃、鶏舎の戸締まり



MAFF
農林水産省

鶏舎周囲と衛生管理区域境界部に**2m幅**で消石灰を散布しましょう!!

★家畜の異状に気づいたら直ちに通報しましょう!!

家畜保健衛生所 ☎

現在の農林水産省の取組の方向②

- 情報発信の強化
 - 情報の受け手を意識して食中毒予防につながる情報を積極的に発信

対象	内容
生産加工業者の方々	ハンドブックの内容や法令に基づく衛生管理の参考となる情報
飲食店の方々	「生又は加熱不十分の鶏肉を食べない・提供しない」などの具体的な注意事項とその理由
消費者の方々	



農場の衛生対策の効果検証①

- 鶏群の食中毒菌の保有率を下げるため、衛生対策の実施条件等を、関係者の皆様と連携して検証
- 調査の内容について、関係者の皆様と意見・情報交換中

【令和元年度調査のテーマと結果】

- バイオセキュリティの強化（鶏舎内の動線管理）
 - － 長靴を交換する場所及び交換後に歩く場所を決めて飼養管理することによる鶏への食中毒菌感染防止効果を検証

農場の衛生対策の効果検証②

- 若齢出荷時の衛生対策強化
 - 若齢出荷時に捕鳥を行う作業者の衛生対策を強化することによる汚染低減効果を検証

- 農場内鶏舎の出荷順の管理
 - 農場内でカンピロバクター陰性の鶏群から順に出荷することによる食鳥処理時の交差汚染低減効果を検証

協力事業者や有識者と意見交換の上、効果検証の内容について検討

優良事例の収集①

- 肉用鶏農場への食中毒菌の侵入・まん延防止対策に積極的に取り組んでいる生産加工事業者の優良取組事例を、食鳥業界の関係者の方々に向けて紹介、参考にさせていただく
- 文献報告や過去にご協力いただいた農林水産省調査により、鶏群のカンピロバクター陽性率が低く保たれている（または低減した）ことが明らかになった事業者にご協力をお願い
- 令和2年度秋を目途に、優良取組事例集(仮)を公表予定

優良事例の収集②

- 飲用水管理の徹底事例

- 生産加工事業者Aは、他社複数社の農場が混在する地域にありながらも、鶏群のカンピロバクター汚染率を低く保っている※。

※H26～30農水省調査において80鶏群中4鶏群（5%）の汚染率

- 衛生対策のうち、特に飲用水の管理に重点を置いている。

優良事例の収集③

- 家畜保健衛生所とともに食中毒菌の低減に尽力した先進的事例
 - 生産加工事業者Bは、所管の家畜保健衛生所とともにカンピロバクター及びサルモネラを対象とした取組を開始。
 - バイオセキュリティ改善のため、複数の衛生対策を実施し、カンピロバクターの陽性率を低下させた※。

※県の家保による検査にて、71%（H19～23）から20%（H24～30）に減少

※ 具体的な取組

- 作業者の専任化（日常の鶏舎内作業/出荷/鶏糞搬出/空舎洗浄消毒/鶏糞処理）
 - 鶏舎前室での交差汚染防止のための動線変更（鶏舎外用の長靴を消毒槽内で脱ぐよう徹底）
 - 専門業者によるネズミの定期的駆除 など
- なお、この事業者では、同時期から経営判断により若齢出荷を廃止。

- 鶏肉の食品衛生をめぐる状況
 - 加工・流通段階では、食衛法改正によりHACCP導入（2021～）
 - 海外では産業界で低減に向けた取組を実施
- 生産段階での衛生管理の向上を進めるために
 - 毎日の衛生対策を適切に取り組み、継続的に低減できるよう、生産・食鳥処理業界の動機付け
 - カンピロバクターのみならず、サルモネラや大腸菌といった他の病原体の低減効果や生産性の影響を収集
- 生産・加工段階で一貫した対策を進めるために
 - 迅速簡易検査法の開発
 - 生産段階における管理点を明らかにする